



新会員ふやすPR活動を

【視点】 今期は、理事長ら理事の顔ぶれが大幅に変わり、わの活動は新たなステップへ踏み出した。14期生から6人が執行部に加わったこともあり「継続した事業を展開するための新戦力」の意味があるようだ。

わの会員は1176人（5月現在）。事業規模は3400万円におよぶ。会員のうち”実動部隊”となる10期以降は約50%なので、会員獲得が一つの課題となる。

22年度予算を見ると、事業収入の大半は神戸市から受託している未来館運営と電話相談。あとは会費、講座収益、助成金となっている。支出は受託事業の経費が大半を占め、旅費交通費、事務所経費などとなっており、ここ数年、傾向は変わらない。

事業関係では「似たようなイベントが多い」という声も聞く。いくつかをまとめ、より効果のあるイベントに集約することも必要ではないだろうか。「区会の活性化と子供たちへの支援を積極的に」と、目標を明確にした今総会。行政や会員など周囲の期待に応えられるよう、めりはりの利いた活動が求められている。

〈わ〉の活性化に…がんばります

役員に就任した9人の「ひと言」メッセージです。

▼長谷川洸士 グループ わ の本部役員として参加して3年。退任する時期でしたが、西田新理事長体制の中で、引き続き法人としての規定類の制定、部会の地域活動活性化対策等を推進することになりました。昨年度には9つの規定を制定しましたが、未だ十分とは言えず、最低限のルールを整備していきたい。また部会活動の再編成も検討したい。

▼徳増芳男 会員の皆さんから寄せられたボランティア活動報告（活動日数・人員・内容・場所など）は、毎月集計してホームページに載せていますが、データだけでは面白みがありません。写真なども取り入れて興味を引く活動紹介ができれば、と考えています。情報ぎやらりーも関心を持って読んでもらえるように、せめて表紙だけでもカラー印刷ができるように努力し

たいと思っています。

▼藤田忠之 わの要である財務を担当して2年目になります。実務経験も少なく、退職後の空白期間もありますが、必死で頑張っています。そのため、「挑戦者の気持ちで、前向きに努力する」、このことを常に心がけ、邁進していきたいと思っています。人生訓は「忍耐と継続です」。会員の皆様のご指導、ご協力をお願いする次第です。

▼宮崎芳江 今年は事業部担当になり、戸惑うことも多々あると思いますが、楽しくをモットーに頑張りたいと思います。私はアウトドアー派人間。年甲斐もなくゴルフ（ホールインワンが夢）やローンボールなどをしていますが、年々自分の体力が落ちているのが分かります。無理しないで、出来る時に出来ることをして人生を送りたいと思います。

▼東本孝次 妻（福9）の勧めでKSCに入学し、わに入り、卒業するや否やわ本部に…と妻の敷いたレール上を走らされています。他のためになろうなんて大それた考えは毛頭ありませんが健康な間は、何かの役に立つならばと微力を尽くそうと考えます。何もかも初めてのことで戸惑ってばかりですが先輩に教わって早く一人前になり、戦力に加われるよう頑張ります。

▼鬼村信行 入学当初に入会した某部会で発言した際、「グループわは、在校生が対象ではなく、卒業後のものである」と一喝されたのを記憶しております。爾来、在学中を通し一貫した連携活動が望ましいということ、機会あるごとに進言して参りました。本部役員として〈出入口の低い、バリアフリーで楽しめるボランティア活動が出来る組織作り〉に微力を尽くしたいと思っています。

▼岸本清 継続は力なりと信じて、50歳代の筋力を70歳代まで維持するためにジムに通い、インストラクターの助言を受け、週2日3時間の筋トレを実践して体力の維持増進に努めている。

▼林田周治 KSC時代には、わの活動についてほとんど認識がありませんでしたが、メンバーに加わり、多岐に亘って活動を行なっていることに驚いています。この中で総務担当としての役割を与えられましたので、各部会、区会そして本部の各部門が連携し、活性化するように触媒的任務を果たしてゆきたいと思っています。明るく、楽しい活動にいきましょう。

▼南形徹 卒業したら絵を描こう、ジムにも通おう、モーツァルトに浸ろう、と意気込んでいましたが、ちっとも時間がとれません。残念やなあ。でも、わで新しい出会いがあるかも、と思えばそれもいいかな…、と。